



インスピレーションになろう

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2019年5月号



『青少年奉仕月間』

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー

吉原 久司

GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

5月はロータリー「青少年奉仕月間」です。今日のリーダーの大切な役割は、明日のリーダーを育てること。ロータリーには、インターアクト（12歳～18歳）、ローターアクト（18歳～30歳）、ロータリー青少年交換（15歳～18歳）、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA：14歳～30歳）など未来を担う若者の能力開花（エンパワメント）を目指す数々のプログラムがあります。

インターアクトクラブでは、中学・高校生が、地元でボランティア活動や海外のインターアクターとの交流を通じて視野を広げ、国際感覚を培っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友達と一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。当地区では20クラブ、548名の会員が元気に活躍しています。

ローターアクトクラブでは、ローターアクターがリーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリアンなど地元のリーダーと交わり、楽しみながらボランティア活動をしています。地元や世界の問題について考え、画期的な解決策を見出すなどの活動をしています。当地区では7クラブ63名の会員が友情の輪を広げ奉仕の心を学ぶと共にスキルの向上のために研鑽に励んでいます。

異文化を理解し、国境を超えた友情と信頼を築く機会をもた

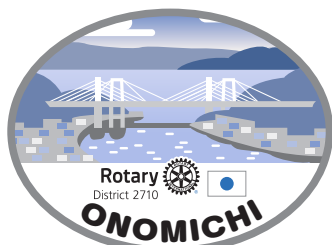
らすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは信じています。世界100か国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、学生が海外に滞在し、言語や異文化を学びながら、海外に友人を作り、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。当地区では派遣学生・受入学生とも4名と減少傾向が続いています。約1年の滞在の後、大きく成長して旅立っていく姿を見るにつけ、もっと積極的にホームステイ先の確保に心を注がねばと痛感しています。

リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい…。そんな考えを実現するための第一歩となるのが、「ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）」です。青少年を対象に地元ロータリークラブや地区によって開催されます。本年度は下関RCの担当で5月18日・19日にテーマを「維新150年 集え！歴史の舞台へ～志士たちの情熱を体感し、夢に向かって行動しよう！～」として開催されます。多くの青少年及びロータリアンのご推薦をお願いします。

現在、当地区の青少年奉仕で最も大きな課題はローターアクトクラブです。藤中直前ガバナーも心配されておられたように20年前は地区で15クラブ会員数266名でしたが現在は7クラブ会員数63名と減少しています。資金面の問題もありローターアクト・ワンコイン寄付を皆様にお願ひしました。これに対しローターアクターは非常に感謝しております。ただ金銭面だけではなく提唱クラブ以外のロータリアンの方々にもローターアクトクラブに関心を持ってもらいたいと思っています。皆様のご協力・ご支援を今後ともよろしくお願い致します。

【目次】

- ガバナーメッセージ……………P1
- グループ5 IM報告……………P5
- 青年奉仕カウンセラーとして思う……………P2
- グループ10-11合同 IM報告……………P6
- 会長エレクト&地区チーム研修セミナー報告……………P3
- 会員増減・出席率(3月度)……………P7
- グループ4 IM報告……………P4
- 特別コラム……………P7
- グループ3 IM報告……………P4
- 新会員・物故会員紹介（奥付）……………P8





青少年奉仕カウンセラーとして思う

—ネット社会・スピード社会に生きる青少年に向けて—

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕カウンセラー・パストガバナー 金子 信

それにしても今年になって各報道で私は気になって仕方がない記事があります。それはセクハラ・パワハラ等の問題です。これらは『人として生きる上の通常規範』として思えます。つまりごく自然な成長過程で身につけるもので、それを国が細かく規定して、しかも違反者は罰するとまで……。何かむなしさを感じるのは私だけでしょうか。

中国の古典に『**忌諱多くして、民貧す**』とあります。忌諱とは人が嫌がって避けること。社会に忌諱が多くなると、人の気持ちは萎縮されます。つまり禁止の立て札に囲まれた生活をするようになります。『こんなことまでお上が口出しすることはないだろうに』と文句も言いたくもなります。国がいろいろ出す禁止令や予防措置、こうした忌諱があまり多いと国民はがんじがらめにされ、息苦しく暗くなり、あげくは思考力も低下し国は滅亡するという教えです。

笑い話になりますが、スポーツ選手がコーチに対して『今日はもう疲れた』と練習を拒むことが許される時代といえるのではないのでしょうか。

とにかく同じ言動が○にも×にも変化する人間関係の線引きを法規制に頼らなければならない現状は、以前より『アナログ人間』を宣言している私にとって『ネット旺盛時代』を映し出しているように思われてなりません。

こんなことを考えていると、最近のRIの規定審議会の傾向はこれとは逆で、さすが168ヶ国加盟の国際的ルールで、多様化時代の内各地域及びクラブの主体性を重んじる規定の緩和策は時代の趨勢ともいえるでしょう。ロータリーの伝統を重んじ原点を充分理解し、まさに『不易流行』の精神を尊重し変わりゆく時代背景のもとで運営方法は変わらざるをえないでしょう。しかしここで大切なのは、その『**当該リーダーの適確なりリーダーシップ**』が要求されることは否めない事実として執^{とら}えなければなりません。

話は変わって、つい先日ですが石川県能登半島中間地点の和倉温泉に行く機会を得ました。往き

は空路にしたものの、復路は何もかも高速化する時代にたまには田舎でゆっくり走る電車に乗って窓外の景色を眺めながらのんびりしようと在来鉄道にしました。

お陰で風景を楽しんだり、それをきっかけに懐かしい出来事を思い出すなど、いつのまにか物思いにふけったりで、非日常の心に浸り発想に膨らみが出た思いでした。

その一つが、さすが能登半島に広がるすばらしい田園風景ですが、それに相対して山合の休耕田の多さはどこの地でも共通しています。今から50年前に比較して我が国の基幹作物である米の消費量は半減しています。それで多くのものを失ってきました。それは農地が減少することだけを意味しなく、田は雨水を涵養し、洪水や土砂崩れを防止する機能があることなど、昨年の大水害もCO₂による気象変動だけではなく、これらも決して無縁とは思えません。

そこで、新大阪から乗った新幹線はあっという間に目的地に着いてしまい、移動時間の短縮は便利ではありますが、私達の生活から非日常の心のあり方を奪っていく思いがしました。また、文字情報の伝達にも高速化の波が押し寄せています。手紙からファックス、今やメールで文字の情報を瞬時に、しかもお互いどこにいても届けることができます。高速化はとどまるところを知りません。ですが、ここでもじっくり考えるということがなくなっているのではないのでしょうか。

今年度のRIのテーマのインスピレーションを『**閃き**』と解釈した私は、^{ひらめ}昨年^{ひらめ}の月間でも書かせてもらいましたが、インスピレーションは突然湧くのも単なる偶然ではないし、どこからか勝手に降ってくるわけでもなく常日頃それを『**待っている心**』に降りてくるものであると思われてなりません。そんな思いにふける充実した列車の旅となりました。皆さんもたまには体験されてみてはいかがでしょうか……。



会長エレクト&地区チーム研修セミナー報告

国際ロータリー第2710地区 2019-20年度代表幹事 平地 茂雄

3月10日(日)ホテルグランヴィア広島で会長エレクト&地区チーム研修セミナーが行われました。全体会議で会場側方にG、GE、PG、GN、AG等が、前方に会長エレクトが座り、後部に地区チーム(3年委員の各委員会、クラブ管理、公共イメージ、会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団、米山記念奨学会の委員会)が座り、午前10時定刻に晝田眞三ガバナーエレクト(以下、GE)の点鐘で会議が始まりました。

国歌並びに、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱の後、来賓並びに役員の紹介があり、続いて次年度研修リーダー東 良輝PGの挨拶、吉原久司ガバナーの挨拶があり、最後に晝田眞三GEの挨拶、続いて『次年度RIテーマと地区運営方針』の講演がありました。

☆2019-20年度のマーク・ダニエル・マローニー RI 会長テーマは【ROTARY CONNECTS THE WORLD (ロータリーは世界をつなぐ)】で、特にロータリーにおける「つながり」は独特で有り、世界中を見渡しても他に類を見ない、等々。

☆晝田GEのガバナー信条【ロータリーの未来を語り、礎を築こう】について。

☆地区運営方針は会員基盤の強化、世界で良いことをしよう(地区補助金の積極的活用)、青少年プログラムの実施、等々。

☆地区目標は会員増強、ロータリー賞へのチャレンジ、ロータリー財団への支援、等々。

☆2019.1.13～1.19に米国サンディエゴで行われた国際協議会での研修の内容を詳しく丁寧に紹介されました。

午前中の最後は基調講演で、次年度地区会員増強委員会カウンセラー西村栄時PGより『更に輝きを増すために 一会員基盤を整える』というテーマでご講演いただきました。ロータリーブランドの陰り、マナーや職業倫理、出席重視、職業奉仕、ふさわしい仲間の勧誘、会員の資格、女性会員、ロータリー情報の徹底、情報集会などについてお話いただき、感動しました。

昼食後、午後からはテーマ別研修ということで、次年度地区米山奨学委員会カウンセラー天野 肇PGより『米山記念奨学会を探究しよう』というテーマでご講演いただきました。日本のロータリー独自のプログラム、日本最大の奨学会、2710地区の現状、などをよく理解して頑張ろうということで、米山梅吉記念館に

ついても言及されました。また米山梅吉とポール・ハリスは同年生まれということも初めて知りました。

続いて第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーター田村泰三PGが『ロータリー財団：クラブに期待されること』で講演され、ロータリー財団は寄付も大切だが、ロータリアンが集めたお金を使う財団である。ロータリー財団補助金(グローバル、地区)、奨学金、ポリオプラス、平和センターで使用。是非頑張ってお使い下さい、等々分かりやすく説明されました。

最後に、次年度クラブ管理運営(戦略計画)委員会カウンセラー大之木精二PGより『ロータリーとクラブ戦略計画』について、一ロータリーは会員個人を単位とした実践倫理運動— ということから、職業奉仕、決議23-34、ロータリーの魅力について格調高く講演されました。

休憩の後、会場を移して部門別研修に移り、会長エレクト部門では晝田GEが『クラブ会長の役割と責務』ということで、最初にRIマローニー会長のメッセージビデオを流され、クラブ会長の資格要件から、会長の任務1～13、クラブの牽引、長期ビジョン、本年度の課題まで講演されました。最後にこの会長年度が終わった時、良い経験が出来て良かったと思えるような1年間になることを希望しますとのことでした。

その後12のグループに分かれてガバナー補佐を中心にグループ別セッションを行いました。各グループとも時間いっぱいまで次年度に向けて検討をされておられました。

地区チーム研修部門は会場を移し、次年度地区研修リーダーの東良輝PGの講演『地区委員会の重要性』があり、その後、各委員会別に分かれ、委員会別セッションが活発に行われました。

合同本会議第二部では地区委員により地区組織、主要日程、地区研修・協議会、公式訪問、会計予算、地区大会の説明が行われました。

その後次年度地区研修リーダーの東 良輝PGよりまとめをいただき、最後に晝田GEの謝辞と点鐘の後、閉会となりました。

続いて会場を移動して合同の懇親会が行われ、全日程を終了しました。皆さん有意義なセミナーであったのではと思います。

参加いただいたロータリアンの皆様、有難うございました。次年度に向けて頑張っていきましょう。



グループ4 IM報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4 ガバナー補佐 蔵清 正一

2018-19年度RI第2710地区グループ4（徳山、徳山東、周南西、光、徳山セントラル）のIMを、2月16日（土）、吉原久司ガバナー、高垣孝久随員幹事、平田万三志次年度ガバナー補佐の御来賓をお迎えし、5クラブから207名の会員の登録を頂き、周南市の遠石会館で開催しました。

今年度のIMのテーマは、吉原久司ガバナーから、グループの弱点をテーマにしてほしいとのお願いがあり、「国際奉仕」とさせて頂きました。まず、基調講演講師として、有限会社アーネスト トレーディング 代表取締役アーネスト・ララカ・シルバ様（RI第2620地区浜松南RC会員、スリランカ出身）に、演題「光輝く島・スリランカの経済事情」として講演して頂きました。講師は、平村紀夫IM実行委員長（周南西RC、元ガバナー補佐）が同じ東日本大震災復興支援活動にて、RI第2520地区気仙沼南RCの50周年記念式典にて知り合い、講演をお願いしました。特に、スリランカ・インドの経済事情、スリランカ元大統領のサンフランシスコにおける日本との平和条約締結調印会議のスピーチ等、あまり日本人が知らな

い歴史など大変感銘を受けた講演内容でした。なお、講師は、18日（月）には、R財団グローバル補助金事業活動で、浜松南RC会員とスリランカに行かれました。

本会議では、グループ4の各クラブが、「国際奉仕」活動事例として、徳山RCは「バンコク・スリウォンRCとの浄水器設置共同事業」「ベトナム孤児院等への寄付等」、徳山東RCは「グローバル補助金タイの小学校へ浄水器」「ベトナムへの車椅子」、光RCは「ランドセルは海を越えて クラレ（ジョイセフ）・アフガニスタン」、徳山セントラルRCは「ザンビア ソフトボール用具」「ガーナカンボジア トイレ」「ウガンダ 雨水貯水槽 野球用具」、周南西RCは「使用済みメガネ回収寄付 JAIFA・ネパール」を発表して頂きました。R財団地区補助金・グローバル補助金も活用され、より多くの「国際奉仕」事業がなされることを切に希望します。

最後に、懇親会では、吉原 雍周南西RC会長が、生みの親であり、山口ゆめ花博で活躍した ソレイユ トリオの演奏が、余興に花を添えて頂き、光RC平田万三志次年度ガバナー補佐に無事引き継ぐことができました。



グループ3 IM報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3 ガバナー補佐 山野 貴教

2018-19年度RI2710地区グループ3のIMを2019年2月17日（土）吉原久司ガバナーほか多数のご来賓をお迎えし山口防府地区6クラブから164名と今回のIM テーマが「福島復興と未来の為に」ということで、福島県南相馬市の原町中央ロータリークラブから15名とグループ3地区内のインターアクトクラブから79名の参加を得て防府市の防府グランドホテルで開催しました。

今年は東北大地震と福島原発事故発生から8年目になります。グループ3では8年前にこの震災に対して何かできないかということで、南相馬市の原町中央ロータ

リークラブの協力をえて南相馬市の幼児の皆さんに線量計を送りました。8年目を迎えると、私たちの記憶の中から震災は消えようとしています。しかし、現地の南相馬では風評被害などが依然あり、8年目になっても「私たちが忘れないで欲しい」という声は生きているようです。

このようなことで今年のIMテーマに「福島復興と未来の為に」を取り上げました。

講演の第一部として、この災害で甚大な影響を受けた原町中央ロータリークラブの佐々木英夫会員が1.原町中



央ロータリークラブの災害後の会員増強、2.被災地の現状と復興状況について話されました。震災当時、会員32名から現在46名の会員増強の話はロータリーアンである私たちにとって非常に参考になりました。また、南相馬の状況を現地のロータリー会員の生の声で話を聞くことが出来たことは有意義でした。

講演の二部として、(一社)あすびと福島代表理事 半谷栄寿氏が「長期を要する福島の復興を担う人材育成と地方創生」で講演をされました。半谷代表理事は原発事故の避難地域小高地区出身で東京電力の執行役員であった関係で、この事故の責任を非常に感じられ、震災時に職を辞して福島の復興に全力をあげられています。特に、現地の状況をいち早く把握され、福島の復興を担う次代の青少年の育成に力を入れられて来ています。これはロータリー活動の未来を担う青少年の育成に相通じるものがあり非常に興味がある話でした。この度はグループ3の皆さんの協力で多数の高校生が参加していましたので、高校生と直接質疑応答しながら、わかりやすく青少年育成の話をされ、講演前後も、時間がある限り高校生と話をされておられた様子は非常に感銘しました。高校生も次第に話に引き込まれ未来に向かって何かを感じとって帰って行った様子でした。

半谷氏の青少年の育成の手法は福島だけでなく、本人も話されていましたが地方創生が叫ばれている今、私たちの所でも半谷氏の手法を取り入れてみる必要があるのではと思いました。

その後、懇親会に移り、航空自衛隊防府の皆さんの威勢のいい天神太鼓で幕が開き、南園元RI理事の乾杯の下、盛大に開催されました。原町中央RCの78歳のプロ歌手 相馬清志の美声で相馬野馬追いなどの歌声が流れる中、親睦と友情の輪が拡がりおおいに盛り上がり成功裏に終了しました。

終わりに、IMに参加いただいたご来賓、講師の各位、インターアクトの高校生の皆さん、原町中央RC会員、防府北RCの会員、実行委員会の皆さんに感謝の念を申し上げ報告とさせていただきます。



グループ5 IM報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 グループ5 ガバナー補佐 福田 敏勝

国際ロータリー第2710地区G5のIMは3月2日(土)柳井RC引き受けで柳井クルーズホテルを会場に、岩国・岩国西・岩国中央・柳井西・柳井の5クラブより222名の登録を得て開催されました。

ご来賓として吉原ガバナー、西村パストガバナー、田村パストガバナー、藤中パストガバナー、正木次年度ガバナー補佐、秋田前年度ガバナー補佐、尾道RC山根国際奉仕委員長をお迎え致しました。

この度のIMは、日本の抱える重要な課題である人口減少によって引き起こされる様々な問題について多くの皆様に知っていただくことを目的に「取り組もう少子化対策」というテーマに致しました。現在日本の出生数は過去最低を記録し、この状態が続けば極度な高齢化社会となり様々な問題に直面することとなります。しかも人口

減少により日本のロータリアンも減少の一途を辿ることもなりかねません。

吉原ガバナーの祝辞に「基本目的を『仲間を増やそう、すべてはそこから始まる』としました。その根本は、地域の少子化対策を充実し、更に地域の職場を確保するロータリアンの活躍が必要です。仲間を増やし、クラブを元気にしていくことが地域の未来を築くことに繋がる」と言われております。このIMを通じて少子化対策がいかに重要であるかを認識していただき、問題の把握と解決の糸口を皆様と一緒に考え、地域社会に貢献できるようにしたいと考えております。

そのようなことから今回は異例ですが、基調講演のみ特別来賓ならびに一般来賓として柳井市市長をはじめ近隣町長、市・町議会議員、各行政機関、各種団体の皆様にも多数お越しいただきました。

基調講演は、ジャーナリスト産経新聞論説委員の河合雅司氏をお迎えし、「未来の年表 人口減少日本で起きること」との演題で講演を行っていただきました。日本は10年前から人口減に入り、少子高齢化が進行し続け





働人口の減少傾向に歯止めが掛からなくなっていると言われていいます。高齢化が進んでいる山口県ならびに柳井市について、今後減少する人数で社会を機能させていくかの取り組みをいち早く行うべきであると強調されました。講演最後に、日本と海外の子育て支援の違いで、フランス・スウェーデンの例を挙げられ、「すぐに成果が上がるものではないが、人口減少への理解を深めることが唯一の策だ」と訴えられ終了致しました。



続いてフォーラムは、会場を移動しロータリーメンバーのみで行われました。山口県在住のフリーアナウンサーの「やすべえ」こと大谷泰彦氏をコーディネーターとしてお迎えし、ディスカッション形

式にて行いました。まず初めに各クラブ会長とのディスカッションを行い、続いて第一線で活躍されている女性2名へと続き、地域における少子化対策についてそれぞれの立場で様々な対応策などが話され非常に意義のあるフォーラムとなりました。

フォーラム終了後は、医学博士であり二胡奏者の「ジャン・ショウイェン氏」によるオープニング演奏を皮切りに、懇親会へと移りました。「ジャン・ショウイェン氏」は、元米山奨学生でロータリーと縁が深く、すばらしい二胡の音色を拝聴しながら、和やかな雰囲気のもと楽しいひと時を過ごし閉会致しました。



終わりに、IM開催に際し実行委員長を務めていただきました村上智真実行委員長をはじめ、実行委員会のメンバーの皆様、引き受けクラブである柳井RCの皆様と事務局、そして5クラブの会長・幹事様ならびに会員の皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げます。



グループ10-11合同 IM報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 グループ10 ガバナー補佐 宇田 宏之
2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 グループ11 ガバナー補佐 稲垣 城史

2018-2019年度国際ロータリー第2710地区グループ10・11合同インターシティミーティング(IM)は、春を感じる3月9日(土)福山ニューキャスルホテルにてガバナー 吉原久司 様・福山市長 枝広直幹 様並びに多くの来賓の方々のご臨席を賜り開催しました。

ガバナー公式訪問の際に、グループ10・11の各ロータリークラブの喫緊の課題をお伺いいたしました。そしてロータリークラブの大きな問題でもあります「会員増強」をほとんどのクラブが挙げられました。吉原久司ガバナーは、基本目的として「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」を掲げられ、わたしたちと行動を共にする仲間作りにあたり、「皆様の地域の方はロータリークラブのことをよく知っておられますか？」と問いかけられました。



そこで今回の合同IM本会議は、テーマを『クラブブランディング』として、広島テレビ放送アナウンサーで福山出身の糸永直美様に「備後のお宝発見」の演題で、魅力ある地元企業の会社及び経営者を紹介していただきました。そして気象予報士/防災士で広島出身の勝丸恭子様には「いのちを守る気象情報にするために」を演題に、自分で自分を守ることが大切、その為にはどんなことを考

えればよいのか、どういう視点で防災に取り組むかそのヒントを提示していただきました。そして福山大学 大学教育センター 講師 前田吉広 様には、糸永講師・勝丸講師のお話を踏まえて「ブランディング」の視点から、福山市・府中市地域の11のロータリークラブがどのような活動をすれば良いか、またこれからのありがたい姿を紐解いていただきました。新しい環境に合わない価値観・仕組みは取り除き、組織の価値・魅力を継続した新たな取り組みの事例も提案いただきました。11クラブを北十字星に例えて、備後スターズ(BINGO STARS)と命名し、会員増強の新たな取り組みとして提案していただきました。



松永幼稚園の園児たちの歌・演奏のオープニングで始まった大懇親会は、主管クラブのカラーを存分に出した構成となりました。松永地域特産のゲタを重ねて積み上げ、その高さをクラブ対抗戦で競いました。お酒の入った会場中が、シンプルな競技に応援の声で盛り上がっていました。

終わりに、グループ10・11合同IM開催にあたりお忙しい中、ご尽力いただきました鞆の浦ロータリークラブ・松永ロータリークラブの会員の皆様に感謝の念を申し上げます。報告とさせていただきます。



国際ロータリー第2710地区 2018-19年度会員増減・出席率(2019年3月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月			本年度 入会 退会
				末日	内女性	入会	
1	長門	93.80	22	25	4	4	1
	下関	71.03	44	44	1	4	4
	下関中央	74.18	34	37	8	3	0
	下関東	76.69	56	60	3	5	1
	下関北	85.78	43	41	0	0	2
	下関西	80.17	33	36	1	5	2
計			80.28	232	243	17	21 10
2	萩	95.66	54	52	0	1	3
	萩東	100.00	24	25	1	1	0
	美祢	81.03	22	23	1	3	2
	小野田	83.97	35	39	3	4	0
	宇部	89.92	46	48	3	2	0
	宇部東	65.63	13	13	2	1	1
	宇部西	89.05	51	51	3	1	1
計			86.47	245	251	13	13 7
3	防府	92.19	59	64	2	6	1
	防府北	87.14	19	22	1	4	1
	防府南	87.35	34	38	6	4	0
	山口	88.16	46	47	4	5	4
	山口県央	90.26	29	30	1	3	2
	山口南	90.96	41	44	5	4	1
計			89.34	228	245	19	26 9
4	光	91.79	53	52	0	1	2
	周南西	90.01	54	54	5	1	1
	徳山	96.01	44	47	1	6	3
	徳山セントラル	95.43	24	25	1	2	1
	徳山東	93.36	50	49	0	4	5
	計	93.32	225	227	7	14	12

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月			本年度 入会 退会
				末日	内女性	入会	
5	岩国	83.83	61	64	0	6	3
	岩国中央	85.69	40	38	3	2	4
	岩国西	83.20	61	61	4	1	1
	柳井	100.00	28	31	3	3	0
	柳井西	97.62	25	28	3	5	2
	計	90.07	215	222	13	17	10
6	広島	99.30	117	118	1	10	9
	広島安芸	96.51	41	43	3	2	0
	広島安佐	91.54	21	21	1	3	3
	広島東	99.76	110	112	8	6	4
	広島北	100.00	96	99	0	4	1
	広島陵北	98.22	52	53	2	1	0
	大竹	84.65	32	31	0	1	2
計			95.71	469	477	15	27 19
7	広島中央	99.88	77	76	6	1	2
	広島廿日市	93.13	35	36	3	1	0
	広島城南	98.59	45	46	3	3	2
	広島南	100.00	83	88	0	8	3
	広島東南	100.00	99	99	13	6	6
	広島西南	99.81	66	66	4	3	3
	広島西	100.00	83	85	3	4	2
計			98.77	488	496	32	26 18
8	江田島	91.01	18	18	0	0	0
	東広島	95.02	33	31	2	0	2
	東広島21	77.41	16	17	4	1	0
	呉	93.19	67	67	1	5	5
	呉東	89.74	36	37	1	2	1
	呉南	90.14	61	61	3	0	0
	西条	99.80	37	34	2	2	5
計			90.90	268	265	13	10 13

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月			本年度 入会 退会
				末日	内女性	入会	
9	広島空港	80.07	27	29	3	2	0
	因島	94.19	20	20	0	0	0
	三原	88.29	58	60	0	2	0
	尾道	83.13	82	81	2	3	4
	尾道東	88.32	52	58	7	6	0
	瀬戸田	68.89	5	5	1	0	0
	竹原	83.92	32	28	3	2	6
計			83.83	276	281	16	15 10
10	府中	100.00	26	27	2	3	2
	福山	97.65	81	81	0	7	7
	福山東	87.33	48	48	2	2	2
	福山丸之内	98.47	30	29	1	1	2
	鞆の浦	85.79	24	23	0	0	1
	福山REC2710*	100.00	19	19	3	0	0
計			94.87	228	227	8	13 14
11	福山赤坂	79.17	52	55	6	4	1
	福山北	95.55	38	40	0	3	1
	福山南	82.13	57	52	1	1	6
	福山西	97.65	41	41	3	1	1
	松永	90.61	53	52	2	2	3
	計	89.02	241	240	12	11	12
12	吉舎	93.89	15	15	0	0	0
	三次	81.53	41	37	0	1	5
	三次中央	95.98	41	39	5	0	2
	庄原	87.75	33	32	4	0	1
	東城	91.26	17	18	1	1	0
	計	90.08	147	141	10	2	8
第2710地区計			89.89	3262	3315	175	195 142

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

早生日本種【蓬萊柿(ホウライシ)】と 尾道ロータリークラブ

ガバナー月信 編集員(尾道ロータリークラブ) 小倉 一洋

尾道の街は尾道商人が作ったとも言われています。日本のあるべき「米作り」がなされてない、米作りに適していない地形の中、先人は商人として街を発展させてきたんだと考えられます。

商人道は、信用を重んじ、三方良しの精神はRCメンバーの精神に通じると思います。

イチジクは紀元前2000年以上の昔から地中海沿岸で栽培が始まったそうです。

あの有名なアダムとイブが身に着けたものがイチジクの葉っぱ。その他数多くの神話や聖書にも登場しています。「不老長寿の食べ物」とか、「葉の木」としてその葉効が古くから知られており、人類の結びつきが強い果物です。

尾道で栽培されているイチジクは、蓬萊柿という品種で、皮が薄く、適度な酸味があって、とても後口がいいのが特徴です。

江戸時代初期に中国から持ち込まれた、日本で最も古くから栽培されている品種で、これの栽培では尾道が日本一の生産量なのだそうです。

尾道は加工の技術が優れ、商人の知恵を使い、加工や商社機能を持ち、他国より産品を調達し、旦那衆が街を大きくしてきたと考えられ、現在のRCの先人達だとも思われます。

日本のイチジクは、100品種程度あるといわれています。

原材料にこだわった菓子職人の受けが良い品種が、蓬萊柿といわれているようです。

農家は朝早く、場合によっては未明から収穫、色づき具合や実の先端部分の割れ方などで十数の等級にわけ、パック詰めし、選果場に搬入します。

選果場ではJAの検査員がチェックして10度程度に保たれた予冷庫に入れ、その日のうちに出荷します。蓬萊柿はとにかくデリケートな品種。傷にも弱いし、雨が多いと割れ目から水が入り込んで傷むことも。

場合によっては木に付いた実にはプラスチックのカバーをかけて保護することもあるそうです。高温で放置すると品質が落ちるので、輸送もすべて保冷庫を使うとか。

そのおかげで美味しいイチジクが育ちます。爽やかな味わいで、いくつでも食べられます。

不覚にも知らなかったのですが、イチジクの皮を剥くときは、実の先端からではなく、木に付いている部分から剥くと簡単にきれいにしあがります。8月から始まった収穫は、10月まで続きます。

私は、早生日本種(蓬萊柿)は、日本種とありますが、輸入種であり、日本種というキャッチコピーになったのも、尾道商人の知恵、尾道の旦那衆の歴史がそのまま尾道RCのメンバーの礎になったのではないかと、商人道は先人尾道RCの精神そのものではないかと思っています。古いものから新しいものへと進む、尾道にはリファインする力が受け継がれている。吉原ガバナーも新しいRC道を目指すRC精神も今リファインしているのではないかと。21世紀に向け新しいRC道に向かい活動中である。



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介



神田 充成
長門RC
2019年3月26日
地方銀行



廣井 法夫
下関北RC
2019年4月2日
ビル管理



植村 育夫
宇部RC
2019年3月7日
情報処理機器販売



野嶋 正彦
宇部西RC
2019年4月2日
化学製品製造



原口 真一郎
徳山RC
2019年3月1日
新聞発行



田中 紀昭
岩国RC
2019年3月7日
新聞(地方)



西藤 公精
呉RC
2019年2月7日
鉄製品製造



大之本 小兵衛
呉RC
2019年3月14日
木造建物販売



大原 亮子
尾道東RC
2019年1月8日
広告代理店



内海 克史
鞆の浦RC
2019年4月9日
信用金庫



岡崎 隆
福山西RC
2019年3月19日
建築金物製造



福山南RC
故 高橋 寛登 殿

謹んで追悼の意を表します

ロータリー歴

1980-81年度 副会長
1981-82年度 会長
1983-84年度 財団委員長(理事)
2014-15年度 地区代表幹事
メジャードナー
マルチプルボールハリスフェロー(6回)
第3回米山功労者

職業分類 公認会計士

2019年3月21日 ご逝去
(享年96歳)

2019-2020 国際ロータリー第2710地区

地区大会in福山

2019.10.25[金]・26[土]・27[日]

Rotary
District 2710



国宝 明王院



福山城



景勝 鞆の浦

国際ロータリー第2710地区
2019年-20年度ガバナー

晝田 眞三

ホストクラブ **福山ロータリークラブ**

1日目 10月25日[金] 記念ゴルフ大会【松永カントリークラブ】

2日目 10月26日[土] 大会諸委員会/歓迎昼食会/会長幹事会/基調講演/
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会/日韓交流パーティー【福山ニューキャッスルホテル】

3日目 10月27日[日] 本会議/記念講演会「歴史作家 加来耕三氏」【ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ】
大懇親会【福山ニューキャッスルホテル】



歴史作家 加来耕三氏

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/